

数年前までは、何色もの陶材を重ね合せてシェードを合わせることに重点を置いてセラミックスの製作に取り組んできた。

しかし **ONE BODY** (ジーシー) や二ケイ酸リチウム材のセラミックスなど、単色陶材によるセラミックスシステムの登場により、最終仕上時のステイン技法は必須となった。

現在、これらのシステムの完成度は高く、臨床において(全ての症例とはいかないまでも)多く活用され、多層築盛よりも簡単な作業で素晴らしい結果が得られるようになった。

築盛によるシェード補正のステインテクニックだけではなく、ステイン材を活用した色調再現やキャラクターの再現方法を紹介したい。